

# たど いわさを辿る!

—3—

■掲載は旧14市町村の五十音順

## 旧磐城市(泉町・渡辺村編)(下)



1970年1月の泉駅。誘致の成功は、泉町の転換点になった=佐藤茂喜氏撮影

泉町の高台から望むと、住宅や店舗が所狭しと並び



ない。田園地帯が広がる渡辺町とは対照的な光景だ。

泉藩の城下町だった泉町と、同藩の宿場「新田宿」があった渡辺町。明治には、ともに近代化の波の中で岐路に立たされていた。

泉町は明治に玉露や泉などの六村が合併し、「泉村」として誕生。交通の要衝、浜街道から離れていたため、当初は城下町機能の消滅で衰退感

が広がっていた。

「転換点」の一つは、一八九七(明治三十)年に開通した日本鉄道磐城線(現・JR常磐線)の泉駅誘致。磐城海岸軌道(現・福島臨海鉄道)の敷設もあり、昭和中期まで輸送中継地の役割を担った。

だが、すぐ発展につながったわけではない。大きかったのは、一九五八(昭和三十三年)、泉に貫通した旧国道6号(現・県道20号)だ。

同町滝尻に住む男性(八二)は「旧国道6号の開通の衝撃はすごかったね。田んぼの中に道路ができたと思ったら、脇に次々と工場や店が建っていったんだから」と振り返る。

### 小名浜の玄関口に

泉村は、五三(同二十八)年四月に町制を施行、翌年に磐城市になると、小名浜の玄関口として機能していく。

ただ、当時は泉藩の町割りを踏襲した街並み。新道を中心に市街地化が進むと、宅地としての利用増進を目指し、土地区画整理事業がスタート。田畑は減り、人口増加の原動力になった。

## 駅誘致が“転換点”に 奴からやっつこにバトン?

旧磐城市のうち今回は、泉・渡辺両地域の変遷をみる。

高台から望む現在の泉町に

は、住宅や店舗が所狭しと立ち並び、田畑が広がっていた往時の面影を見ることはでき

いわき市

1966（昭和41）年10月1日、5市4町5村が大同合併して誕生。64年3月に常磐・郡山地区が「新産業都市」に認定されるまで、各市町村が協議会を設立して活動したことが契機となった。面積は1,232km<sup>2</sup>で、市としては2003年まで国内最大、県内の約9%を占める。工業出荷額は例年、東北で1、2を争う。人口は令和6年1月1日現在、32万600人。1997年に中核市指定



四の其 列行奴社神助諏 戸釜中村邊渡國城磐

渡辺村の奴行列大祭。7年に1度、5月7～9の3日間行われていた＝明治時代の絵はがきより

二〇一一年（平成二十三年）に発生した東日本大震災以降は、避難者の居住も増加。人

合併前夜——泉町・渡辺村編

（一部いわき市の資料から）

泉町は一九四七（昭和二十）年四月、玉露、泉、本谷、滝尻、下川、黒須野の六村が合併し、「泉村」として誕生。五三（同二十八）年に町制を施行、翌年に磐城市の一部となった。旧国道6号の貫通で市街地化

旧国道6号の貫通で市街地化

口は二〇二三（令和五）年四月一日現在、約二万六千五百人。一九五三（昭和二十八）年四月の約七千人から四倍ほどに激増。

一方の渡辺町は、明治に六村が合併し、渡辺村として誕生。浜街道が通り、江戸時代に宿場が栄えたが、泉に駅が誘致されると交通体系から取り残され、旧国道6号のルートからも外れていく。

こうして農村として歩む中、消えてしまった文化もあった。

釜戸、諏訪神社の「奴行列大祭」はその一つ。渡辺―泉間の沿道九キロにおよぶ参勤交代を模した祭事で、七年に一度行われていたが、

一九七二（同四十七）年以降は催行されていない。

「やつこ」と言えば、泉町で開かれる「泉ふるさと祭り」では、「泉赤玉やつこ行列」が名物。江戸幕府老中で、二代泉藩主の本多忠篤公が登城の際、槍の穂先に赤玉を付けたいわれに基づいている。

「泉藩」という歴史の縁を持ち、磐城市として合併しながら、異なる歩みが続けてきた両地域。それぞれの背景を意識しながら街並みを眺めると、時代のダイナミズムがみえてくる。

（鷹）

■次号は旧内郷市Ⅱ炭鉱の町編

小中はマンモス校

在、泉小は児童数が八百七十八人、泉北小は六百五十人を超え、泉中は生徒数が八百三十人超で県

内一のマンモス校。

渡辺町は、四七年に田部、洞、泉田、松小屋、中釜戸、上釜戸の六村が合併し、村として成立。江戸時代は泉藩領と湯長谷藩領に分かれ、泉藩領の宿場「新田宿」が栄えたが、明治以降は農村として歩んでいく。

近年は住宅が増加し、昨年四月一日現在の人口は千七百八十三人で、五年前から百五十人以上増えている。



食の安全・安心。さらに、おいしい

初節句 雛祭り お祝いの席や贈り物に

シーフードケーキ

創作かまぼこ

かねまん 本舗

https://www.kaneman.net/ 0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。 ■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■本店 福島県いわき市平下高久字下原83 TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ら・ミュウ店 福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1 TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く 恵比寿様 大黒様

恵比寿様 大黒様

■オンラインショップ www.kaneman.net インターネットでのご注文はこちら▶